

令和6年度 静岡市公共事業評価委員会

【事後評価】社会資本整備総合交付金

静岡市の地域活性化に

貢献するみちづくり

建設局道路部道路計画課

令和6年12月4日

- ・社会資本総合整備計画
「静岡市の地域活性化に貢献するみちづくり」の概要
- ・評価内容① 要素事業の進捗状況
- ・評価内容② 事業効果の発現状況
- ・評価内容③ 評価指標の目標値の実現状況
- ・評価内容④ 今後の方針

**社会資本総合整備計画
「静岡市の地域活性化に貢献するみちづくり」
の概要**

静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりの概要

計 画 の 名 称	静岡市の地域活性化に貢献するみちづくり（第２期）
計 画 の 期 間	平成31年度 ～ 令和４年度（４年間）
計 画 の 目 的	（上位計画）静岡市総合計画（市全体計画） ⇒ 静岡市のみちづくり（道路事業） ⇒ 地域活性化に貢献するみちづくり
計 画 の 目 標	都市内における道路ネットワーク構築や中山間地域の円滑な走行空間を整備することにより、快適な市民生活、活発な経済活動を支援し、地域の活性化を図る。
事 業 区 分	道路事業・街路事業
事 業 内 容	新設・改良事業（バイパス整備、拡幅整備等）
全 体 事 業 費	5,023百万円
基 幹 事 業	14事業（当初7事業）
関 連 事 業	0事業
効 果 促 進 事 業	0事業

静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりの概要

第3次静岡市総合計画

⑦ 社会基盤分野

1. 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します

2. 道路利用者の安全性・快適性の向上のため道路環境の改善を推進します

3. ライフラインである上下水道を維持するために効率的な事業運営を推進します

4. 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進します

5. 自然災害に耐える社会基盤の強靱化を推進します



静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりの概要

第2次静岡市のみちづくり

基本方針

1. 地域活性化に貢献するみちづくり

2. 充実した暮らしを支えるみちづくり

3. 持続可能な生活基盤を構築するみちづくり

4. 大規模災害に備えるみちづくり

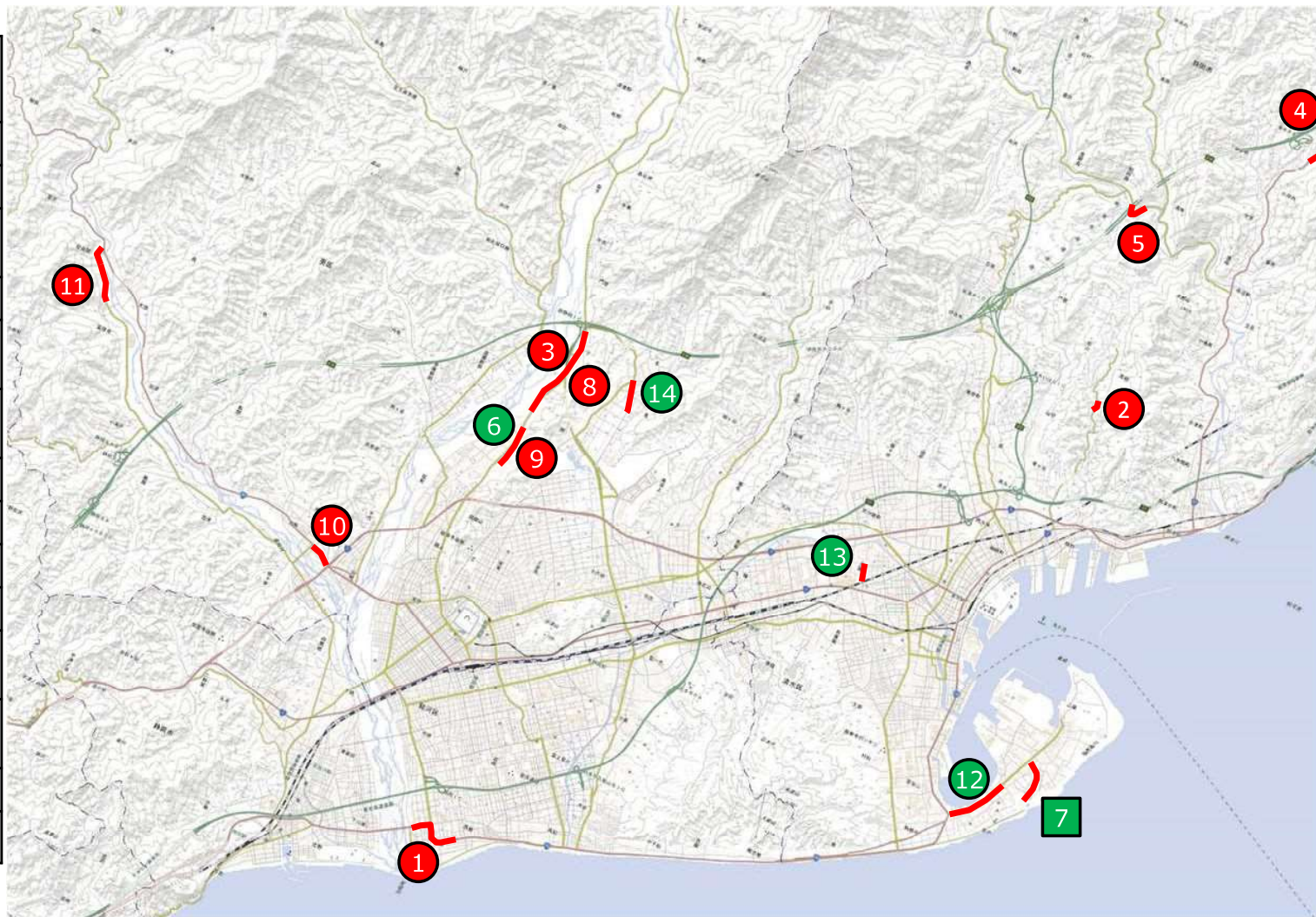
- ◆ 広域的な連携・交流を生み出すみちづくり
- ◆ 円滑な都市内交通を実現するみちづくり
- ◆ 景観・歴史資産・観光素材を磨き上げるみちづくり



静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりの概要

■ 事業箇所図

	事業名	事業内容
1	(国) 150号 静岡バイパス	バイパス
2	(一) 茂畑横砂線(広瀬、茂畑)	現道拡幅
3	(主) 井川湖御幸線 下～松富上組	現道拡幅
4	(主) 清水富士宮線(穴原)	現道拡幅
5	(主) 清水富士宮線 (清地/宮嶋橋)	橋梁架替
6	(都) 静岡駅賤機線 (昭府～松富2)	街路
7	(都) 塚間羽衣線	区画街路
8	下鯨ヶ池 1 号線ほか14	現道拡幅
9	昭府一丁目 2 号線ほか14	現道拡幅
10	(国) 362号 羽鳥・安西拡幅	現道拡幅
11	(一) 奈良間手越線 (奈良間～富厚里)	現道拡幅
12	(都) 清水港三保線 (折戸1～折戸2)	街路
13	(都) 日の出町押切線 (北脇)	街路
14	(都) あさはた線	街路



青字：計画変更で追加した事業

道路事業：9
街路事業：4
区画街路事業：1

● 道路事業
● 街路事業
■ 区画街路事業

静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりの概要

計画の成果目標（定量的指標）

【指標】

静岡市内での**主要道路における旅行速度を**
30.2km/h → 32.0km/h に向上させる

算定式：平均旅行速度 = Σ 道路延長 / Σ 平均旅行時間

評価内容① 要素事業の進捗状況

①要素事業の進捗状況

■ 基幹事業

事業 種別	主な事業の内訳	要素 事業数	評価時計画		評価時の完成状況		
			執行額 (百万円)	進捗率	完成事業数 /全事業数	完成	次計画へ
			事業費 (百万円)				
道路 街路	現道拡幅 バイパス 区画整理	14	2,110	42.0%	4 / 14	4	7※
			5,023				

↑当初計画 7 事業 変更追加7 事後評価時 14事業

未完成事業のうち、
7事業は次期計画へ移行
ほか3事業については別計画へ移行

①要素事業の進捗状況

事業進捗一覧表

	事業種別	事業名	進捗状況	備考
1	道路	(国) 150号 静岡バイパス	完了	
2	道路	(一) 茂畑横砂線 広瀬、茂畑	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
3	道路	(主) 井川湖御幸線 下～松富上組	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
4	道路	(主) 清水富士宮線 穴原	完了	
5	道路	(主) 清水富士宮線 清地/宮嶋橋	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
6	街路	(都) 静岡駅賤機線 昭府～松富 2	完了	
7	街路	清水三保羽衣地区 ((都) 塚間羽衣線)	完了	
8	道路	(市) 下鯨ヶ池 1 号線外14	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
9	道路	(市) 昭府一丁目 2 号線外14	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
10	道路	(国) 362号羽鳥安西拡幅 3 期	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
11	道路	(一) 奈良間手越線 奈良間～富厚里	継続	令和 5 年度からの次期計画へ移行
12	街路	(都) 清水港三保線 折戸 1 ～折戸 2	継続	令和 5 年度からの他計画へ移行
13	街路	(都) 日の出町押切線 北脇	継続	令和 5 年度からの他計画へ移行
14	街路	(都) あさはた線	継続	令和 5 年度からの他計画へ移行

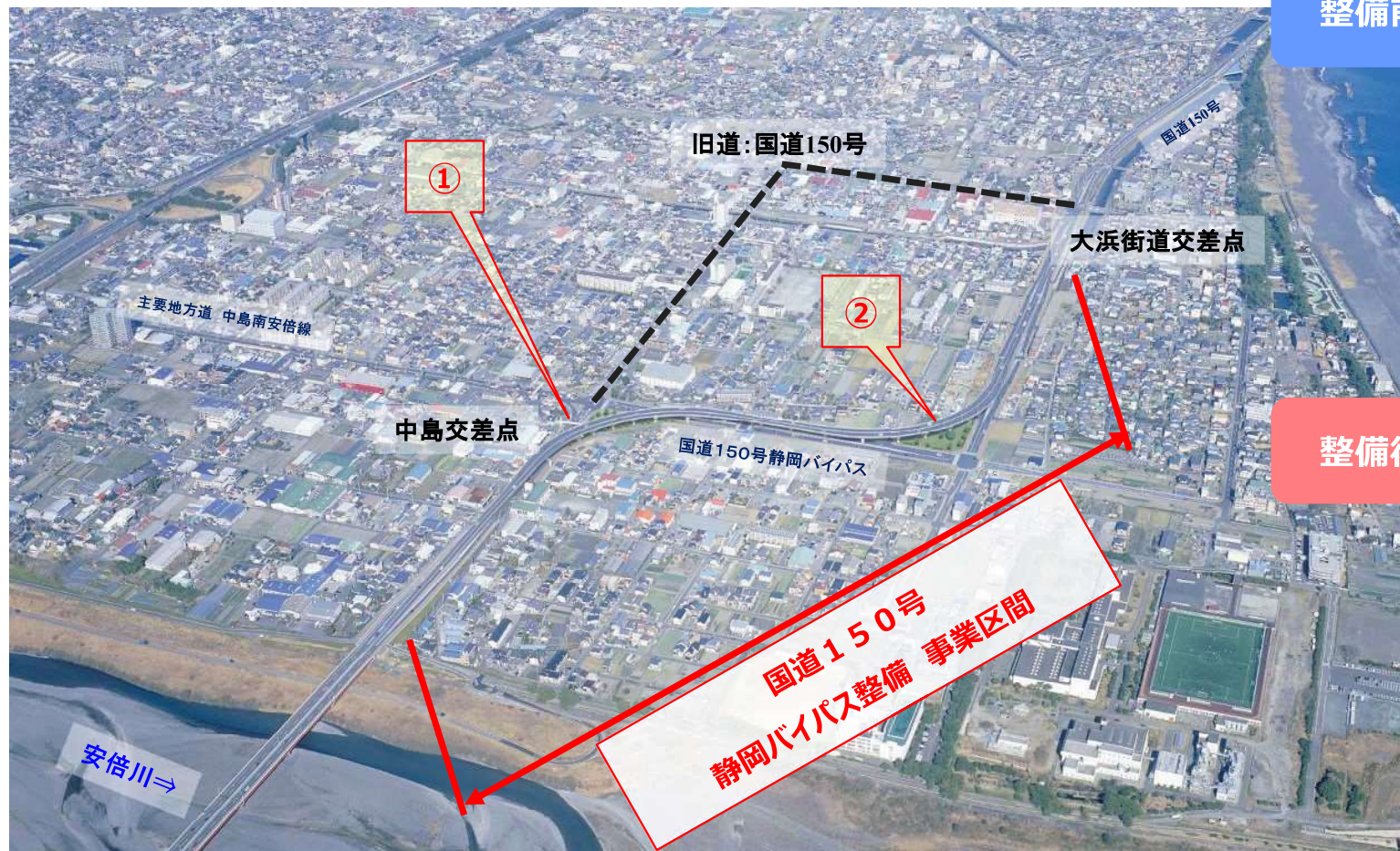
完了：4 事業 継続：10事業（次期計画以降 7 事業、他計画 3 事業）

評価内容② 事業効果の発現状況

②事業効果の発現状況（代表路線 1）

（国）150号 静岡バイパス（完了）

- ・国道150号の静岡市駿河区下島～中島区間は幅員が狭く、通過交通車両が原因となり、中島交差点を中心に慢性的な渋滞が発生。
- ・バイパス事業によって平面部交差点への車両流入が軽減し、交通の円滑化が図られた。



整備前

①平面交差による渋滞発生



整備後

②高架橋・平面部整備



②事業効果の発現状況（代表路線 2）

（主）清水富士宮線(穴原) **（完了）**

- ・富士宮市との市境の区間において、現道の道幅が狭く、対面通交が困難なことから、拡幅整備をすることにより、安全で円滑な交通環境の形成を図った。

整備前



幅員が狭小



すれ違い困難

整備後



幅員の確保



②事業効果の発現状況（代表路線 3）

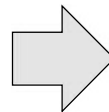
（都）静岡駅賤機線（昭府～松富2） **（完了）**

- ・新東名高速道路開通により、新静岡ICから中心市街地への交通量が増加したことから交通混雑が発生している。
- ・4車線化整備により、自動車交通の円滑化が図られた。

整備前



2車線道路、慢性的な渋滞



整備後



4車線化整備

評価内容③ 評価指標の目標値の実現状況

③評価指標の目標値の実現状況

指標：静岡市内での主要道路における旅行速度の向上

定量的指標の目標値と実績値			
定量的指標	当初現況値	最終目標値	最終実績値
	(平成30年)	(令和4年末)	(令和4年末)
指標 主要道路における 旅行速度	30.2km/h	32.0km/h	29.2km/h 【未達成】

○最終目標値32.0km/hに対して、実績値29.2km/hで未達成となった。(△2.8km/h)

※市内主要道路における旅行速度については未達成となったが、整備計画に位置付けられた路線のうち事業完了した路線においては、渋滞が緩和され自動車交通の円滑化が図られた。旅行速度の向上についても確認ができた。

③評価指標の目標値の実現状況

指標未達成の要因について

要因 1：事業未完了によって速度が期待通りに向上しなかった

計画的に事業の整備を推進したが、用地交渉の難航によって事業進捗に遅れが生じた。これに伴い事業が未完成となり、旅行速度の向上に影響が出たことで、未達成となった。

要因 2：他事業による影響

当初現況値から最終実績値が下回っている。

市内の主要道路で実施されていた他事業の交通規制等で渋滞の発生や、迂回路の交通量が増加し旅行速度が低下したと考えられる。

③評価指標の目標値の実現状況

国道150号静岡バイパス事業完成による主要道路の旅行速度向上

効果検証：国道150号、主要地方道中島南安倍線



評価内容④ 今後の方針

④今後の方針

○事後評価の総括 未達成

定量的指標の目標値と実績値			
目標期間	当初現況値	最終目標値	最終実績値
	(平成30年)	(令和4年末)	(令和4年見込)
指標 主要道路における旅行速度	30.2km/h	32.0km/h	29.2km/h 【未達成】

○今後の静岡市の地域活性化に貢献するみちづくりについて

- 用地取得体制の強化を図る。
- 計画期間内に事業が完了していないものについては、次期計画（～令和8年度）によって継続して事業を推進し、当計画で達成しなかった成果目標値の達成を実現していく